

助産分野における就職3年未満 の実践能力評価 —大学院修士課程と大学課程の比較—

平成21年3月
特定非営利活動法人
日本助産評価機構

目的

- 本研究は、就職して助産実践を開始して3年未満の学部卒業生と大学院修了生の助産実践能力の比較を上司からの評価という形でフォーカスグループ・インタビューにより探索し、その特徴を記述することを目的とし、助産分野における実践能力評価の基準選定に活かすことをねらいとして行った。

アウトカムモデル

	インプット	プロセス	アウトカム
カリキュラム		・学部での助産教育プログラム ・大学院の助産教育プログラム	
助産学生	・年齢 ・教育背景 ・看護基礎教育 ・臨床経験年数 ・出産経験 ・志望動機	・実習での助産技術実施・見学数 ・助産技術の到達度	・助産実践能力(上司) ・助産に関する基礎知識 ・国家試験合格率 ・修了率(またはドロップアウト率) ・就職・離職・再就職 ・仕事に対する満足度
教員		・プログラムの問題・課題の明確化	

研究の対象

- 学部教育と大学院教育を経てきた卒業生・修士生の勤務する病院等を便宜的に3～5か所ほど選出し、その職場の上司約10人を対象とする。
- リクルートの手順は、まず関東近郊で就職3年未満の看護大学卒業生と大学院修士生と一緒に勤務する病産院等を便宜的に3～5か所抽出し、研究の説明と依頼を行い、同意の得られた上司を対象とする。

インタビューガイド

- ・卒業生および修了生の動向
- ・卒業生の強いところと弱いところ
- ・修了生の強いところと弱いところ
- ・卒業生と修了生の相違点
- ・修了生に対して、抱いていたイメージと実際
- ・今後、期待すること

入職後の違いについて上司のインタビュー

- 学部卒業生より大学院修了生に特徴的なこと
- 学部卒業生・大学院修了生どちらにも当てはまる特徴
- 助産教育に期待すること

学部卒業生より大学院修了生に特徴的なこと

- <旺盛な探究心>
- <助産という仕事への専心>
- <調整し焦点化する力>
- <職業人としての人間関係スキル>

2年間の大学院教育のプログラムで学生が
学習経験を積み重ねた結果の特徴であった。

旺盛な探究心

➤ 向上心がある, 勉強熱心

勉強に対する意欲・貪欲さが勝る
視野が外に向いていて吸収力がすごい

➤ 目的意識が明白

自分のやりたいことがはっきりしている

➤ 理論的, きちんと調査・探索する姿勢

わからない事にあたった時、深く考え、調べ、分析する
思考過程が身についている

➤ 事例からの深い学び

1例1例のお産をしっかりと振り返り納得するまで考える

助産という仕事への専心

- 妊婦に寄り添うケア-お産にじっくり2年間向き合ってきた

いつも自分に出来ること何なのか考え、即座に対応できる

- 助産師になる覚悟をする時間

学部4年間の「資格を取る」という意識ではなく、
「私は助産師なんだ」という自立心、職業意識を持つ2年間

調整し焦点化する力ー要約力

➤ グループワーク, カンファレンスの持ち方がうまい — 焦点化と調整力

分担作業が出来、段取りが組める

テーマの出し方、議論の焦点を明確にする力がある

➤ プレゼンテーション能力がある

記述し、発表する等のまとめる力

➤ 同期のモデルになる — 教育的にかかわり

事例の出し方、ミーティングの段取りのうまさ

職業人としての人間関係スキル

➤ 社会人としての落ち着き・対人関係のよさ

難しい患者さんでも対応できる

患者さん・先輩とのコミュニケーションも上手にとれる

➤ できる部分を述べる, 積極的, できないことにhelpを求める

学部卒業生・大学院修了生どちらにも 当てはまる特徴

<個人差の大きい助産技術の修得>

修得した助産技術は変わらない
修得までの時間がかかる

<現代の新人気質>

横並びを装う

卒業したという気負いから、できない自分に軌道修正
がんばり過ぎる、力の抜き方がわからない

考察：大学院修了生に特徴的なこと

- <旺盛な探究心>が特徴的であると評価される理由として、修士課程においては助産学の基礎を系統的に学ぶと同時に、病態生理、生命倫理、看護研究、Evidence-based Medicineをはじめとして、真理の追究をする姿勢が養われる点にある

考察：大学院修了生に特徴的なこと

➤ <助産という仕事への専心>

大学教育においては、選択科目で6－8ヶ月間の濃密なカリキュラムに対し、大学院では2年間基礎理論から基礎・応用実習までその学習期間の実質的長さが異なる。

その為、助産という仕事への関与や覚悟が試され、修了時には、助産師としての必要な態度や技術が伴ってくる。

考察

- 年齢的な成熟を同じにして、大学院生の入職時と学部卒業生の入職3年目を比較する場合の想定。
- <職業人としての人間関係スキル><助産という仕事への専心>は、職業経験を通じて身につけることが出来る能力かもしれない。しかし <助産という仕事への専心>は、その猶予期間を臨床現場で過ごし、試行錯誤しながら仕事をするため、現場の教育担当者は、手厚い新人研修が必要になる。
- 一方、<旺盛な探究心><調整し焦点化する力>は、大学院での基礎教育以上の上級教育に特有なものであり、学習体験は職業経験とは、別の方法で学ぶものだと考えられる。

結論

- 就職して助産実践を開始して3年未満の学部卒業生と大学院修了生の助産実践能力の比較を上司からの評価で行なった。
- 学部卒業生より大学院修了生に特徴的なこととして、＜旺盛な探究心＞＜助産という仕事への専心＞＜調整し焦点化する力＞＜職業人としての人間関係スキル＞という4つの特徴が顕著であった。